仙台駆け込み寺

No.19
2022年4月1日

いろは横丁相談室だより

市民活動団体と企業の情報交換会参加報告

2022年3月2日に名取市市民活動支援センターが開催したセミナーに参加しました。

～知り合い・つながるために！～
◆プログラム◆
講 義：企業と市民活動の連携・協働について
クロストーク：企業の本音を聞いてみよう
グループワーク：感想・これから自分たちが出来ることは
開催方法：Zoom 開催
対 象：名取市内で活動する市民活動団体や企業で相互の連携に興味のある方

参加した市民活動団体は15団体、企業6社8人と大学1校です。グループワークでは名取市に工場があるP社、N社、カーディーラーT社、N建設、Wドラッグストアで全国規模の一流企業でした。
各企業共に地域住民と共に独自イベントの開催はしていますが市民団体との連携事業には取り組んでいないとの事です。社員の地域ボランティアへの参加も本人に任せており、ボランティア休暇等の活用はまだのようです。
仙台駆け込み寺は先ず存在を知って欲しいと思い、各企業の食堂や店舗にチラシを置いてもらうことから始めようと思います。各企業の担当者との連絡ルートもできましたので、4月から企業訪問を開始致します。興味のある方はご一緒にお願い致します。

コラム　『桜の花が語ること』

もうすぐ桜の季節が来る。
東北地方であれば満開から花が散るまで約1週間程度だそうだ。だがその間に雨が降ったり風が吹いたりすれば花が散ってしまうので、実際に見られる期間はもっと少ないと思う。1年のうちで1週間ほどしか咲かないこの花を、人は心待ちにし、また他のどの花とも違う特別な想いを寄せる。



肺炎をきっかけに入院し、どんどん弱くなっていった祖父。食事ができなくなり、医者からあと一ヶ月ももたないと言われた。11月初めのことだった。だが祖父は、「桜が見たい」と驚異的な回復力で冬を乗り越え皆をびっくりさせ、ついに翌3月には退院した。あのときの祖父にとって、桜の花は他の何にも勝る希望の光だったのだろう。あれから5年。今年も祖父は元気に桜の季節を迎えようとしている。今の祖父にとって、桜の花はどんな存在なのだろうか。今度会いに行ったら聞いてみよう。　　ようこ

お花ボランティアさんの紹介

いろは横丁相談室に相談者さんの心が和むように綺麗なお花を飾って下さっているお二人です。今回は手作りのリースを持ってきてくれました。ありがとうございます。









ボランティアのSさんとKさん

3月の相談状況

【相談内容別】

・ＤＶ	0件
・家族の問題	8件
・ストーカー	0件
・家庭内暴力	0件
・心の問題	5件
・仕事の問題	2件
・住居の問題	1件
・病気の問題	0件
・いじめ問題	0件
・引きこもり	1件
・恋愛問題	1件
・お金の問題	0件
・その他問題	1件
合計	19件

【年代別】

・10代	0件
・20代	4件
・30代	6件
・40代	2件
・50代	6件
・60代	0件
・70以上	0件
・不明	1件
合計	19件

【男女別】

・男性	6件
・女性	13件
合計	19件

３月のボランティア参加情報
【ボランティア参加人数】　55名
ありがとうございました